サ ッ カ ー〔男子〕 （令和７年度）

兼全国及四国高校県予選

日時　　５月31日（土）試合開始時間は組み合わせ参照

６月１日（日）　　〃

６月２日（月）　　〃

６月８日（日）　　〃

会場　 ５月31日　６月１・２日　県総合運動公園球技場

北条スポーツセンター陸上競技場・球技場

伊予市しおさい公園

　　　　決勝 　 　　　　ニンジニアスタジアム(８日)

参加資格　令和７年度県高校総体要項参加資格による。

試合方法　１　トーナメント

２　試合時間は70分間とし、ハーフタイムは10分間とする。勝敗が決しないときはPK戦により決定する。ただし、準々決勝以降は、20分間の延長試合を行い、なお決しないときはPK戦により決定する。

競技規定　１（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。

２　試合開始前に選手と９人以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、６名まで主審の許可を得て交代することができる。

・選手交代は、交代回数を３回までとする。延長戦に入った際は、前後半に使用しなかった交代回数を持ち越し、持ち越した回数に１回追加された回数交代することができる。（ただし、交代枠が残っている場合に限る）

・ハーフタイムや延長戦に入る前のインターバル、延長戦のハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。

・一度に複数人の交代は可能だが、試合を通しての交代人数は変わらない。

３　脳振盪による交代

・１試合において、各チームは最大１人の「脳振盪による交代」を使うことができる。

・「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。

・交代で退いた競技者が、脳振盪による交代で再び競技者になることはできない。ただし、交代要員の数＝「通常の交代」の最大数の場合は、交代で退いた競技者でも交代可能となる。

・一方のチームが、「脳振盪による交代」を使用したならば、相手チームは、（脳振盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。

４　本県大会中に２度警告を受けた選手は次の１試合に出場することができない。

５　退場を宣告された者は、次の１試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律委員会で決定する。

６　背番号は１～25のうち、20人分の正・副それぞれ異色のユニホームを用意すること。

７　試合開始70分前にユニフォームチェック・監督会議を行う。30分前に本部へ所定のメンバー表を３部提出すること。選手証を必ず携帯すること。なお、選手証とはWEB登録システム「KICK OFF」から出力したカラーの写真貼付があり、顔の認識ができる選手証・登録選手一覧のことを示す。

サ ッ カ ー〔女子〕 （令和７年度）

兼四国高校県予選

日　　時　　５月31日（土）試合開始時間は組み合わせ参照

６月１日（日）　　〃

６月２日（月）　　〃

会　　場　　５月31日　桜井海浜ふれあい広場サッカー場

６月１日　今治スポーツパーク

　　　　　　６月２日　伊予市しおさい公園

参加資格 令和７年度県高校総体要項参加資格による。

試合方法 １　トーナメント

 ２　試合時間は、１回戦は60分間とし、ハーフタイムは10分間、勝敗が決しないときはPK戦により決定する。準決勝以降は70分間とし、ハーフタイムは10分間、勝敗が決しないときは20分間の延長試合を行い、なお決しないときはPK戦により決定する。

申　　込　　　参加申込書（全競技）を学校でとりまとめ、表書きを添えて、県高体連事　　　　　　務局に提出すること。

競技規定 １　（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。

２　試合開始前に選手と９人以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、６名まで主審の許可を得て交代することができる。

・選手交代は、交代回数を３回までとする。延長戦に入った際は、前後半に使用しなかった交代回数を持ち越し、持ち越した回数に１回追加された回数交代することができる。（ただし、交代枠が残っている場合に限る）

・ハーフタイムや延長戦に入る前のインターバル、延長戦のハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。

・一度に複数人の交代は可能だが、試合を通しての交代人数は変わらない。

　３　脳振盪による交代

・１試合において、各チームは最大１人の「脳振盪による交代」を使うことができる。

・「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。

・交代で退いた競技者が、脳振盪による交代で再び競技者になることはできない。ただし、交代要員の数＝「通常の交代」の最大数の場合は、交代で退いた競技者でも交代可能となる。

・一方のチームが、「脳振盪による交代」を使用したならば、相手チームは、（脳振盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。

　　４　本県大会中に２度警告を受けた選手は次の1試合に出場することができない。

 ５　退場を宣告された選手は、次の１試合に出場できず、それ以後の処置については、大会の規律委員会で決定する。

６　背番号は１～20をつけ、正・副それぞれ異色のユニホームを用意すること。

７　試合開始70分前にユニフォームチェック・監督会議を行う。30分前に本部へ所定のメンバー表を３部提出すること。選手証を必ず携帯すること。なお、選手証とはWEB登録システム「KICK OFF」から出力したカラーの写真貼付があり、顔の認識ができる選手証・登録選手一覧のことを示す。